

フジコン

代表取締役社長 大島 右京



百年企業へ新たな挑戦

2018年は、制御機器の生産調

整の逆風を受けたが、数年前から種

まきをしてきた医療機器とセキュリティ

ティ関係が30%増と結果を出した。

次の新分野として注目しているのが

宇宙関連。NASAを見学した際、

宇宙船には多くの端子盤が使われ、

地上設備に当社の端子盤が使われて

いたことも判明した。宇宙産業はこ

れからの市場だが、意識的に取り組

んでいこうと思っている。

「幸せづくり。笑顔づくり。」を

掲げ、100年企業を目指すなか

で、18年はそれに向けた社内を取り

組みが活発化し、多くの成果が出

た。社員一人ひとりのスター性を見

つけて伸ばす「スタープロジェクト」

では、2名の女性社員がホーク

リスト、司会者というスター性を開

花させ、仕事に良い影響を及ぼして

会では、社員の健康維持・向上に向

けて運動の習慣化はじめ様々な施策

に取り組み、経済産業省からの健康

経営優良法人認定を目指している。

また若手中間層が自主的に若手勉強

会を立ち上げ、10年先の会社の姿で

熱い議論を交わすという動きも出て

きている。

19年は100年企業に向け、端子

盤専業メーカーから結線の不便や不

都合を解決するソリューション

ン企業としての脱皮を図

る。第1弾として、セレクト

オーダーシステムと、3Dプリンタ

の試作サービスを掛け合わせた新ビ

ジネスを考えている。何千種類もあ

る端子の金型資産を活かし、電子部

品や機器メーカー向けに端子部の力

スタム受託を提案したところ反応が

良い。開発トータルコスト削減やり

ードタイム短縮に貢献すべく、19年

はこれを広げていきたい。

いる。社員が自信を持ち、お互いを

尊敬しあえる関係になれば、良い製

品と上質のサービスを提供できるよ

うになると思って取り組んでいる。

これから新たなスターが出るのが楽

しみだ。

社内改善に向け社員が自主的に活

動する委員会も7つ立ち上がり、熱

心に取り組んでいる。安全衛生委員